



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~
2019年度
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 バリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2018年7月9日】

09
第1398回

2018-2019年度 第2回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング 「奉仕の理想」

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

★米山奨学生 シャルマ・ゴパル君

記念品（バッチ）の贈呈

本田悟士会長から河野景治直前会長へ



福島和見幹事から中島三千代直前幹事へ



会長スピーチ (本田 悟士 会長)

こんばんは。

週末にかけての西日本豪雨、大変な被害をもたらしています。速報では100名を越える犠牲者が出ておりさらに安否不明の方も多数おられるとのこと・・・亡くなられた方のご冥福をお祈りし、また、被災された方々が一日もはやく日常を取り戻されることを心から願います。

さて、先週末の土曜日、7/7は七夕でした。織り姫と彦星は恋人ではなく夫婦だそうで（「昔むかし天の帝に織女という美しく芸妓にすぐれ、毎日機を織って暮らす娘がいました。そして、牽牛という農耕に励む働きものの青年がいました。二人は結ばれて夫婦となりました」）、そんな二人、年に1日しか会わない夫婦に絡めた話をさせていただきます。

勿論、愛さえあれば、1年であれ5年であれ10年であれ、単身赴任でも別居生活でも何の問題もないのですが、もし、長く続く別居生活で愛も冷め、あるいは過ちをおかし、別れようとなった場合には、様々な問題が生じるのです。

法律上の婚姻関係を結んだ以上は、一方から勝手には離婚することができないのが日本の仕組みです。話し合っ合意のうえで離婚するいわゆる「協議離婚」ができないのであれば、家庭裁判所の調停を経て、それでもダメならば訴訟によって離婚することになります。

そして訴訟によって離婚するには、法律の規定に従った離婚原因が必要です。この点、民法

卓話予定

- 7/23 「がんについて」 小山内科クリニック 院長 小山 研一 氏
- 7/30 クラブ・フォーラム「創立30周年事業について」
- 8/6 クラブ・フォーラム「会員増強について」
- 8/13 例会取り止め(定款第8条第1節に基づき)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

は、不貞行為（配偶者のある者が自由な意思に基づいて配偶者以外の者と性的関係を結ぶこと）を明文で離婚理由として挙げるほか、「その他婚姻を継続し難い重大な事由」という包括的な条項も定めています。DV、性的不能・拒否・以上、不貞に類する行為などがこれにあたります。しかし、基本的には、婚姻関係を破綻させた責任のある側からの請求は制限されています。ただ、破綻した夫婦を無理に縛り付けていても仕方がないという、破綻主義に傾いてきた裁判所は、現在では、別居期間が両当事者の年齢及び同居期間との対比において相当の長期間に及ぶこと、未成熟子のいないこと、相手方配偶者が離婚により過酷状況におかれなことを要件に、有責配偶者からの離婚請求を認めるようになっていきます（なお、最高裁昭和62年9月2日判決）。織り姫、彦星の年1回の逢瀬がどのような趣旨のものかにもよりますが、どちらかの浮気があって離婚というような場面では、長期の別居というものに先ほど述べたような効果があることには注意が必要です。

また、離婚の際には、財産分与といって夫婦の共同生活中に形成された財産の清算が伴うことが通常です。

一方の名義の財産であっても、夫婦であった間に増殖した財産は助け合って形成された共有財産であるとの評価を基礎にしています。家業を一緒に行っていたような場合だけでなく、一方が専業主婦、専業主夫であっても、基本的に1/2ずつの分配となります。なお、以上の説明からわかるとおり、一方が婚姻前から有していた財産や、婚姻期間中に親等から相続した財産は対象となりません。

ここで、織り姫・彦星に絡んで問題となるのが、ほとんど別居している夫婦に、共有財産形成への寄与・加功があるのかということです。これについて、基本的には別居時以降の協力関係はないと考えられており、別居時までの増殖財産が対象となります。別居のタイミングが重要ですね。

というわけで、今日は、七夕にちなんで？離婚について少しだけお話しさせていただきました。

幹事報告（福島 和見 幹事）

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「日田RC創立55周年記念式典」のご案内

日時：平成30年10月6日（土）

記念講演：14:30～16:00

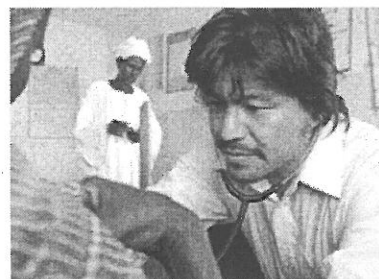
（於：昭和学園高等学校 体育館）

「ロシナンテス流国際協力～激動する世界の中で～」

NPO法人ロシナンテス理事長 川原 尚行 先生

式典：17:30～（於：マリエールオークパイン日田）

祝宴：19:00～（於：マリエールオークパイン日田）



■ 例会取止め・変更

<取止め>

クラブ定款により、次の例会を取りやめます。

委員会報告

「2018年度 第1回 ほろニガ会」について

報告者：河島一夫担当世話人

日時：平成30年7月19日（木）18:30～

場所：仏蘭西料理店「赤煉瓦」

※震災後、場所を移して新店舗で営業されてます。

参加費：「ほろニガ会」会員：5,000円

ビジター：10,000円

★多数の参加をお待ち致しております。



出席報告

(長野義文クラブ管理運営委員)

	会員総数	21名	出席率
7月9日	出席免除会員数	0名	76.19%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	16名	
6月25日	前回の出席会員数	17名	85.71%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
6/16 熊本南RC創立30周年式典 山下君			

スマイル (田中 純司 スマイル担当)

- 本田 悟士 君、福島 和見 君
「本日は6 常任委員長就任挨拶です。昨年末に無理を言って、でも心よく引き受け頂いた皆様に感謝してスマイルします。」
- 河野 景治 君、中島三千代 君
「先週の今年度第1 例会には、前会長、前幹事の私共は出席出来ず、大変済みませんでした。年度が代っての早速の欠席で、さぞあきれられたかと存じます。代わりにアクトの今年度第1 例会には、揃って出席して来ました。お詫びのスマイル申し上げます。」
- 上田 観一 君
①「先週は本田悟士会長の船出に間に合わず、今日から乗船致します。宜しくお願い致します。SAAの役目をしっかりしたいと思えます。」
②「地震、台風、豪雨の災害列島日本も各地につめあとを残し被害が沢山出ました。各地の被害の1 日も早い復旧をお祈り致します。」
- 中島 光司 君
①「“さあ、夏休み 同窓会は甲子園” トップ入賞 中央区 田中壮明さんの作です。」
②「週末のジャイアンツ、広島カープ相手に初めての勝ち越しおめでとう!!でもまだ借金4なのであります。」
③「大雨による被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。」

- 松村 秀逸 君
①「災害で沢山の方がお亡くなりになりました。心より御冥福をお祈り致します。」
②「新年度始めて出席致しました。本田会長年度に私も会員増強委員長として少しばかり頑張って会員増に努力して数名のプラスになるようにと思っております。先週休んだお詫びにスマイルを致します。」
- 河島 一夫 君
「本田年度になり、出席者が増えました。大変良い事。本田会長が人気がある為か、それとも頼りないと思っ来ているのか?ともかく出席が増えてスマイル。」

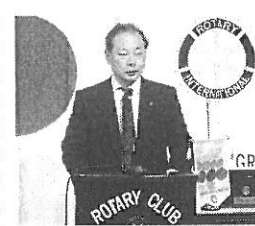
- 仙波 洋八 君
「本田会長、福島幹事を中心にグリーンロータリークラブがさらに発展することを願ってスマイルします。」
- 十時 義七郎 君、大友 利行 君、栗山 義則 君、長野 義文 君、荒木 一之 君、田中 純司 君
「6 常任委員長の皆様、挨拶ご苦労様です。今日は梅雨明けしたそうです。今年は暑くなりそうです。体に気を付けて下さい。」

3. 例会プログラム

「クラブ管理運営、公共イメージ、会員増強、奉仕プロジェクト、青少年奉仕、ロータリー財団 委員長就任挨拶」

- ①河島 一夫 クラブ管理運営委員長
- ②仙波 洋八 公共イメージ委員長
- ③松村 秀逸 会員増強委員長
- ④田中 純司 奉仕プロジェクト委員長
- ⑤中島三千代 青少年奉仕委員長
- ⑥栗山 義則 ロータリー財団委員長

河島一夫クラブ管理運営委員長



今年度、久しぶりにクラブ管理運営委員長を仰せつかりました河島です。宜しくお願い致します。

この委員会は、大所帯で会社で言えば総務部と管理部を一緒にしたような重要な委員会です。この委員会が順調に機能しなければ、クラブも上手くいきません。気を引き締めて運営していかなければなりません。各委員長の方々宜しくお願い致します。

◆仙波洋八公共イメージ委員長



国際ロータリーが、奉仕プロジェクト委員会と広報委員会を合併させて「公共イメージ委員会」としました。目的とするところは減少が止まらない会員の増強活動へのテコ入れではないかと思われます。

長い歴史を持ち、我が国における奉仕活動の中核を勤めて来たという自負心を持って現在まで運動を続けて来たのですが、社会の変化に対応する為には、一般社会に対してPR活動をせざるを得ないとする状況認識に至ったということでしょう。ロータリークラブはこれまで、外に向って組織の理念や活動実績をPR的に広げることを良しとせず。禁止とも見えるほどの規制がかけられて来ました。すなはち組織への自信と誇りが宣伝的行動を是としない雰囲気醸成していたように思います。これにはそれなりの歴史的な理由があるのです。ロータリーの創始者とされるポールハリス氏が約100年前に簡単に言えば、仕事上の寂しさと、シカゴという都市の荒廃をなんとかしたいとの思いで4人の仲間と作ったサークルが始まりで、初期の頃は仲間の売り上げを心配し、励まし合っていたのがアメリカです。一方、三井物産から東洋綿花の社長となった福島喜三郎氏と三井銀行常務の米山梅吉氏という大企業の幹部が中心となって、東京と大阪を拠点として歩き出した日本。

このようにしてスタートした我が国のロータリーには大企業の幹部や地方の名士のような人達の多数が集うことになり、地方においても選ばれた人々によってロータリークラブが結成されるようになり、一般的から見ると一段高い存在として捉えられ、一種のステータスとなって発展して来たと思われます。

私が入会の誘いを受けた30年前、気持ちの中で自分の実力はさておき、俺もロータリーに誘いを受けるようになったか、という感慨に似た思いが沸いた記憶が残っています。

皆さんも、友人、知人、仕事仲間などからの声掛けが入会のキッカケだと思いますが、ロータリーのステータスを意識したことはありませんか。これは非常に大切なことで誇りを持つということは行動の励みを生むことに連がるものです。グリーンクラブが創立したのは平成元年ですが、バブル景気の下り坂にさしかかった時代でした。そのバブル最盛期といわれる3~4年前からロータリーの会員増強運動、すなはちクラブ作り運動が盛んに行われ、熊本においてもいくつかのクラブが誕生し、その中の1つが我がクラブなのです。

ここに来て、クラブ〇〇周年記念式典が多いのはこのような背景があるのです。

しかし、その後の展開をみますと会員の減少傾向が止まらず、目新しい奉仕活動が展開されているようにも見えず、「お忙しいのに良く毎週集まっておられますね」と言われる位の評価しかないように見られているのです。ご承知のように会員減少の傾向はこれからも続くと言われています。何故このような傾向を生む組織になっているのでしょうか。

公共イメージ向上運動の中で、どうしても触れておかなければならないことがありますので思い切って問題点の1つを提起してみることにします。

ロータリーの理念の柱と位置づけられるものに「内なる奉仕」すなわち「I Serve」（私がやる）という概念なのです。要するに「社会への奉仕は自分の仕事を通して、その中で行う」というものです。勿論崇高な理想ではありますが、具体的にいつどこで何をすればいいのか、薄い利益を追求している。毎日の中で実際問題としてやれるのが、という事になり、「I Serve」がなにもやらない隠れ蓑になってしまっているのが実情のようです。我が国の社長と名がつく人の99.4%は中小零細企業の経営者との統計が出ていますが、ロータリアンの多くはこの中に居ると思われます。従って内なる奉仕は単なる精神論であって、ロータリアンにどれだけの影響を与えているか、はなはだ疑問です。広辞苑によると単なる親睦団体であるかのような評価しかされないこととなります。

さて、一方「We Serve」（私達がやる）とされるLクラブの場合、団体行動が中心となりますので、結果として知名度が上がるということになります。

ロータリーの方が歴史も古く、偉い人が沢山居るんだと叫んでみても、そのことが社会的に認知されなければ自己満足で終わるだけなのです。偉い人、優れた人がどれだけ居ようとも、その姿と成果が多くの人々に分かってもらってはじめて社会的認知度が高まるのです。この際、歴史的優越感のようなものはスバリと捨てて、社会に打って出るくらいの覚悟で臨まなければ公共イメージの向上などに繋がることは難しいと思います。

熊本市内には17クラブがあり、530名のロータリアンが居ます。「街で会ったらヤーと叫ぼう」と歌いながら、声を替え合えますか。まずは出来るだけバッチを付けましょう。

集会には出ましょう。街頭募金などをやりましょう。いかにマスコミやメディアに取り扱ってもらえるかを協議する前に、向こうから取材を受けるようなことをやりましょう。ロータリークラブとそのメンバーはそれをやるだけの実力を間違えなく備えているのです。我がクラブの公共イメージ委員会は、いま一度自分の足元を見ることから始めたいと思っています。ご協力をお願いします。

◆松村秀逸会員増強委員長



皆様こんばんわ。今年度、会員増強委員長という事でご挨拶します。私が入会して約20年になりますが、入会した時は32名ぐらいでしたが現在は、21名になりました。

減少の原因には、亡くなられた方々、そして景気が悪くて会社の状況で、やむなく退会された方々等であります。

やはり現会員の退会をなくす事が、一番大事であろうと思います。

グリーンクラブは、幸いにして、皆さん仲良く良い人ばかりですので、チームワークは良いと思いますので、親睦委員会の荒木委員長と協力しながらより親睦を深めて行くことと、各会員様のご協力で一人づつくらい友人や仕事関係の方を、紹介して頂きたいと思います。

そういう中で、数名の入会ができればと思います。目標として最低3名ぐらいをめざしたいと思います。

最近では景気も大変良くなり、会社関係も利益がだいぶ出ているようですので、入会のお誘いもやりやすいのではと思いますので、皆様の御協力を宜しくお願いします。

◆田中純司奉仕プロジェクト委員長



今年度は、本田会長・福島幹事の下で奉仕プロジェクト委員長を務めさせていただくことになりました。奉仕毎に担当をお願いしておりますが、仙波副委員長は社会奉仕担当ですが公共イメージ委員長を兼務されます。山下委員は職業奉仕担当で管理運営委員会のプログラム担当です。荒木委員も国際奉仕担当で管理運営委員会の親睦担当です。松村委員に至っては農業委員会担当と会員増強委員長の兼務です。特に忙しいと思いますが、1年間よろしく願いいたします。

私も、管理運営委員会のスマイルを担当いたします。

先般の家庭集会では欠席が多かったのですが、今日は丸山委員以外の河島委員、中島光司委員、長野委員と出席されています。奉仕プロジェクト委員会の一員であることをご認識頂き、ご協力をお願いいたします。

グリーンロータリーの奉仕といえば「いいこと応援プロジェクト」でしょうか。他のクラブでも具体的なことを聞かれることがあります。今年度も、これを中心に活動を行うことになると思います。「アクアスロン大会」「ほたる保護育成」「暴れん坊ガールズ」は例年通りです。また、新しい支援については、会員皆様にご提案いただき、協議を進めていければと思っています。ご提案、よろしく願いいたします。「職場訪問」「農業委員会」も活動計画に従って行っていきます。

以上、就任挨拶と致します。1年間よろしく願いいたします。

◆中島三千代青少年奉仕委員長



本田・福島年度で、青少年奉仕を担当する事になりました。

今年度は、ロータクトの会員増強にも、力を入れなければと考えています。現在、会員数4名でのスタートですが、2名減少する事が予定されています。新しい会員に、魅力ある活動を見せるためにも、親クラブからのロータクト例会への参加をご協力いただきたいと思います。

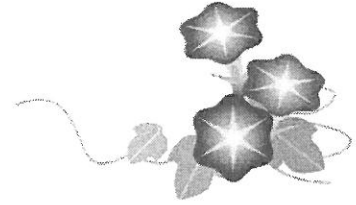
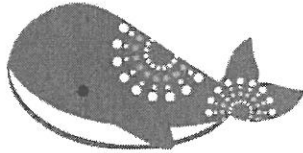
また、会員の中にも、ご紹介いただける若者がおられましたら、ご一報ください。

どうぞよろしく願いいたします。



今年度も私個人が、何かと仕事が出来ず各委員の方に迷惑をかけると思いますがよろしくお願い致します。

特に米山奨学会の関係のセミナーや卓話の件で米山関係の委員様にはよろしくお願い致します。



4. 閉会・点鐘

ローターアクトクラブを結成する（立て直す）方法

ジャクソンビル・ビーチズ・ローターアクトクラブ（フロリダ州）の会員数は、設立が認可された当初の100人をピークに、急速に減少して2014年には10人となっていました。この状況を見かね、提唱クラブであるポンテベドラビーチ・ロータリークラブが任命したアドバイザーが、このローターアクトクラブのすべての例会に参加することになりました。

定期的に連絡を取り合い、両クラブの会員に交流行事や奉仕活動への参加を呼びかけた結果、地域社会を拠点とするビーチズ・ローターアクトクラブの会員数は65人にまで増えました。

「このように会員数が増えたのは、提唱クラブであるポンテベドラビーチ・ロータリークラブが私たちのクラブと非常に強く関わり、快くアドバイスをしたり、成功事例を教えてくれたおかげ」と話すのは、ビーチズ・ローターアクトクラブ会長のチャーリー・プリンさんです。

また両クラブは、似たような分野の知識や関心を持つローターアクターとロータリアンを結びつける、1年間のメンタリング・プログラムもスタートさせました。5月にはビーチズ・ローターアクトクラブ主催のイベントが開催され、両クラブの会員が互いに親睦を深めたり、人脈を広げたりしました。

「平均的な会員数は決して多くないため、ロータリークラブとローターアクトクラブと一緒に手を取り合い、必要に応じて連携することで、将来的にロータリークラブへと移行するローターアクターの数を増やしていくことは非常に大切であり、しかも不可欠なことです」と、ビーチズ・ローターアクトクラブの会長エレクトであるマグダレーナ・シチオンさんは説明します。

バリー・ラシンRI 会長は、今年度にローターアクトを拡大させ、ローターアクターからロータリアンへの移行を強化するという目標を立てました。ローターアクトクラブの設立や、低迷しているローターアクトクラブの立て直しをお考えのクラブにとって大切なことは、「つながりを保つ」ことです。

次のヒントをご参考ください。

チームを結成する

ローターアクトクラブをサポートするロータリアンや住民のグループを結成する。

参加者について知る

地域社会の構成を把握し、大学や地域社会を拠点とするローターアクトクラブの設立が可能かどうかを判断する。ロータリーの「若い世代の職業人とともに」キットを利用して若年層について理解し、活気あるクラブの文化を創出し、ロータリーの価値を伝える。

情報提供のイベントを開催する

すべての出席者と関わりを持ち、イベントに参加した理由に加え、地域の改善やリーダーとしての成長への関心について会話を。出席者に連絡先を教えてもらい、例会に招待したり、個人的なつながりを保つようにする。

設立後の数カ月間、ローターアクトクラブの例会をサポートする

クラブ管理運営委員会の設置を支援し、設立後同もないローターアクトクラブをサポートする。また標準ローターアクトクラブ定款や推奨ローターアクトクラブ細則の採択、役員選挙、例会場所の選定、最初の奉仕プロジェクトの計画などについてアドバイスする。

つながりを保つ

ローターアクトクラブの例会や行事に定期的に顔を出し、ロータリークラブの活動や行事への参加を呼びかける。